

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成25年1月24日 (2013.1.24)

【公開番号】特開2012-182095(P2012-182095A)

【公開日】平成24年9月20日 (2012.9.20)

【年通号数】公開・登録公報2012-038

【出願番号】特願2011-45903(P2011-45903)

【国際特許分類】

F 2 1 S 2/00 (2006.01)

F 2 1 V 7/00 (2006.01)

F 2 1 V 7/22 (2006.01)

F 2 1 Y 101/02 (2006.01)

【F I】

F 2 1 S 2/00 2 1 1

F 2 1 V 7/00 3 2 0

F 2 1 V 7/00 5 1 0

F 2 1 V 7/22 1 0 0

F 2 1 V 7/22 2 4 0

F 2 1 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成24年11月30日 (2012.11.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

凹面反射鏡と、当該凹面反射鏡の底部開口に配置されて光を放射する発光素子とを、基体の一端部に設けられ、前記発光素子のヒートシンク及びヒートマスとして機能する取付ベース部材に配置し、前記凹面反射鏡の反射面の全面に光透過性を持たせ、前記取付ベース部材を、前記凹面反射鏡の略全面を側方に露出させた状態で設けたことを特徴とするランプ。

【請求項 2】

前記凹面反射鏡を透明な基材で成形し、当該基材の内周面に誘電多層膜から成るダイクロイック膜を設けて前記反射面を形成したことを特徴とする請求項 1 に記載のランプ。

【請求項 3】

前記基材の外周面が光拡散性を有することを特徴とする請求項 2 に記載のランプ。

【請求項 4】

前記凹面反射鏡の先端開口を塞ぐレンズを備えることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載のランプ。

【請求項 5】

前記取付ベース部材は、主表面に前記発光素子が設けられるベース部を備え、前記ベース部の縁部を前記基体の周方向に突出させ、当該突出した縁部の全周に亘って前記基体の外周面に沿って延びるヒートマス部を、前記凹面反射面の略全面から側方に透過される透過光を遮蔽することがない位置に設け、前記ヒートマス部の露出部分を覆うヒートマスカバーを設けたことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載のランプ。

【請求項 6】

前記ヒートマスカバーが、電気絶縁性、及び前記ヒートマス部よりも低熱伝導率を有することを特徴とする請求項 5 に記載のランプ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

上記目的を達成するために、本発明は、凹面反射鏡と、当該凹面反射鏡の底部開口に配置されて光を放射する発光素子とを、前記発光素子のヒートシンク及びヒートマスとして機能し、基体の一端部に設けられた取付ベース部材に配置し、前記凹面反射鏡の反射面の全面に光透過性を持たせ、前記取付ベース部材を、前記凹面反射鏡の略全面を側方に露出させた状態で設けたことを特徴とするランプを提供する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また本発明は、上記ランプにおいて、前記取付ベース部材は、主表面に前記発光素子が設けられるベース部を備え、前記ベース部の縁部を前記基体の周方向に突出させ、当該突出した縁部の全周に亘って前記基体の外周面に沿って延びるヒートマス部を、前記凹面反射面の略全面から側方に透過される透過光を遮蔽することがない位置に設け、前記ヒートマス部の露出部分を覆うヒートマスカバーを設けたことを特徴とする。